



1

紳  
士  
或  
は  
子  
豚  
野  
郎

富豪に奪われた乙女の純潔

虎井シグマ

Sigma Torai

紳士、或イハ猛獣。  
～富豪に奪われた  
乙女の純潔

第 1 話

いかないで

まって

遠く離れても私の心は永遠に貴女のお傍に

…あざい  
浅井…

…また  
この夢



藤田さん  
吉番テーブルに  
珈琲を頼むよ

はい！

ちよつと雰囲気  
良くないお客さん  
だから気をつけて

あはは



お待たせ  
致しました  
珈琲で御座います

おっお嬢さん  
こんなところで働いて  
金に困ってんのかい？

金ならやるから  
隣に座ってくれよ  
俺達とお話しようぜ

……

お、お客様  
困ります……!

チップは  
はずんでるんだ  
カフェーなら女給を  
席につけるくらい  
当然だろう!

うちでは  
そういった  
サービスは……

そんなはした金じゃ  
足りないと言ってるのが  
分からないのか?

何?  
?

か、風戸さん……



店主  
この藤田小夜さんを  
席につけてもらおうぞ



おはよう  
小夜さん

今日も  
麗しいな

こ、これは風戸様！  
本日もようこそ

さあさ  
どうぞ奥の  
お席へ

お前らも  
いい女を隣に  
置きたければ

金を積みめ

お、おい  
お前……っ





かざとまさおみ  
風戸正臣さん

海運業の実業家で  
巷では船成金と呼ばれる  
大金持ち……らしい

私がそんなに  
面白い話を  
出来るとは  
思えないのだけど……

そういえば……

最近友人が遊女に  
入れ込んでてな

カキヤ……

相当夢中で毎日のように  
通いつめているらしい

まあ……素敵では  
ありませんか

素敵？

何故かこの小さな  
喫茶店に頻繁に  
通っては

こうして私を席に呼んで  
他愛もない世間話を  
していく





…そうだな

世間では遊女に惚れるなんて、と笑われるが…

俺もそちらの方が利口だと思う

だって愛しているから毎日でも逢いに行くのでしょ？  
想いが通じるといいですね

金さえ払えば好いた女を抱けるんだ

どんなに想っても指一本触れられないほうが

…よほどつらい



おき

な、何を  
仰ってるんですか

ニヤニヤ…

…ん？

人攫い多発  
夜道の女出し  
注意か〜

人攫い<sup>さら</sup>か…  
この辺りだな

はは君には  
まだ刺激が  
強かったか

すまない

どう  
しました？

最近若い女性が  
攫われる事件が  
おきているらしいな

…小夜さん  
帰りは遅い  
んだろう？

夜道は心配だ  
送らせて  
くれないか？

ありがとう  
ございます

でもすぐ近くの  
長屋なので  
大丈夫ですよ

…そうか？

…なら  
気をつけて  
帰れよ

ええ



灯りを  
持ってくれば  
良かった…

…真っ暗  
今夜はお月様も  
隠れているのね



何な  
…!?

この人達  
今朝の…

わかれ、さよなら

とち神さま



成金様のお気に入りだ  
きつと高く売れる  
だろうよ

…じいお…?

御覧ください  
ただの女給娘とは思えない

さあさあ  
お待ちかね!  
本日の  
目玉商品です

流れる  
絹の髪

透き通る  
白い肌

愛でもよし  
奴隷として  
飼うもよし

この人達は一体  
何をしているの?

なに…?!

高貴さすら  
感じられる  
この少女

さあ  
どうぞ!



それに、  
この匂いは

何…？

身体が

熱い…

千二百

千二百！  
よろしい  
ですか？

三千

皆様  
盛大な拍手を！

…ありがとうございます！  
ございます！

おおっと  
これはすごい！  
他にいらっしゃい  
ませんか！？

私…  
売られたの…？

だれか

今日からこの方が  
お前のご主人様だ

可愛がって  
もらえよ

たすけて

…まあいい  
帰ったら存分に…

くそ…香に  
あてられたか…?

さっさと  
歩け…っ

ちっ





あ、ああ  
連れが気分を  
悪くしてな…

おや  
そうですか



風戸汽船の…

夜会にしては  
随分お早い  
お帰りですね



おや  
山浦子爵



お、お前は…



それにしても  
珍しい物が手に入るとは  
聞きましたがまさか  
人まで売っているとは…

山浦子爵も  
良いご趣味を  
お持ちで

…ふん



実は今日  
私も招待されて  
ましてね

…てつきり  
よいお買い物を  
されたのかと

結局仕事で  
不参加ですが…

…知って  
いたのか

…相変わらず  
嫌味な男だ



おいくら  
でしたか？

…は？

いくらで娘を  
落としたのかと  
聞いてるんですよ

くく…

先日の子爵の夜会  
大変豪勢だったと  
聞きましたよ

見栄を張るのも  
大変でしょう

何…？

な…っ

き、貴様  
華族である私を  
愚弄する気か…!!  
言いたいことが  
あるならばつきり  
言え!!

十倍だ

は…？

その娘譲って  
頂きたい

貴方が落札した  
十倍の額を出すので





風戸汽船に  
恩も売れる

会場でも見栄のために  
落札したのでしょう？

あなたの体裁は守られ  
さらに上乗せされた  
金が入る

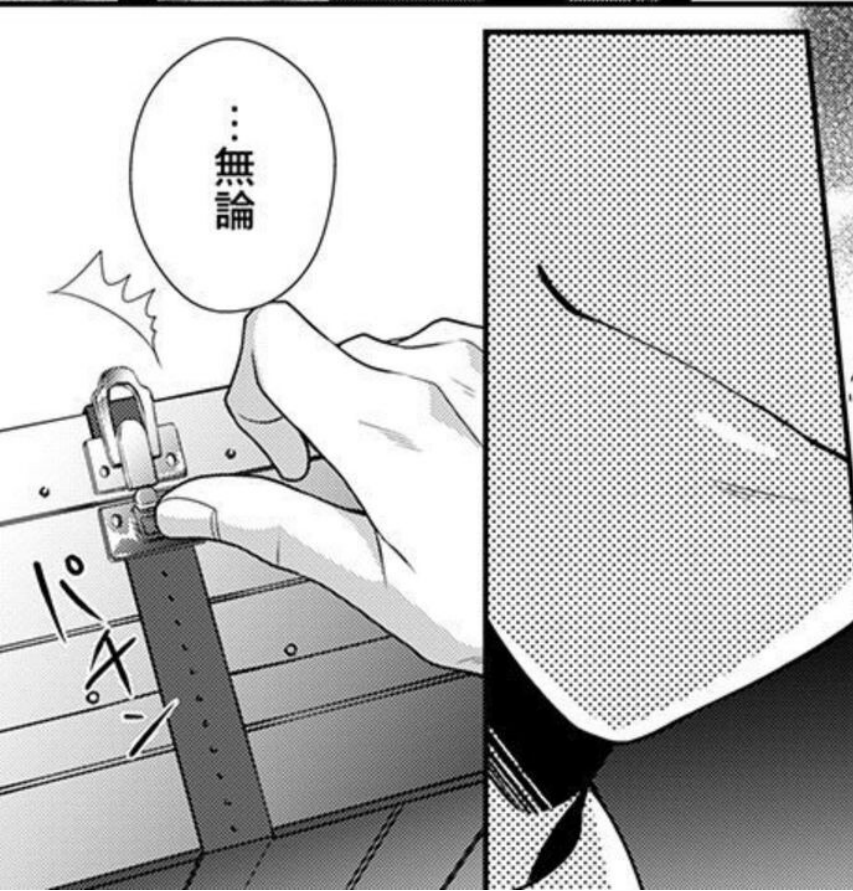
一石二鳥では  
ないですか



な、何を…



…いや  
三鳥かな



…無論



…金は…  
金はいつ渡す

く…



即金で



小夜さん  
大丈夫か

しっかり  
するんだ

…この声…  
風戸、さん…?



この香り…  
興奮剤か…

そんなに強いものでは  
なさそうだが相性が  
良すぎたか…

大丈夫だ  
すぐに医者…

助けて  
くれたの…?



でも…



か、からだか

あついの…

たすけて…



…あ…い…

小夜さん…?







あ♡

しりしり

あ♡

そんなに可愛らしい声を出すな

馬車の外で御者が聞き耳をたてているぞ？

身体が言うこと聞いてくれない…っ

ん…っ

きもちい♡

きもちい♡

俺は出来ればあまり聴かせたくないんだがな…

…それすらお構いなしか…

あ♡

あ♡

ちゅっ。ぬる

ぬる

びり

がら

がら

がら

まゆの





…なら指  
ナカに挿れるぞ？

いいな…？

はっ  
なんでもいい  
もうなんでも  
いいから…

あ…っ  
はやく…う

この熱から  
解放して…っ



っ…指一本でも  
きついな…

あ…

あ…





紳士、或イハ猛獣。  
～富豪に奪われた  
乙女の純潔(1)

著者 虎井シグマ  
発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。  
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、  
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。



2

紳  
士  
或  
は  
子  
豚  
獣  
耳

富豪に奪われた乙女の純潔

虎井シグマ  
Sigma Torai

紳士、或イハ猛獣。  
～富豪に奪われた  
乙女の純潔

第 2 話



…アアアは…?



小夜さん  
起きたか

ふし..



体調はどうだ？  
喉が乾いている  
だろう



風戸さん…？  
私…？

あの後  
気を失うように  
眠ってしまったんだ

あの後…



た、助けて下さって  
ありがとうございます  
ございました  
で、ですが  
この事はどうか  
どうか記憶から  
消して下さい

.....



わ、私  
なんてことを……



あ……



……まあいい  
今日からここが  
君の部屋だ

必要な物があれば  
言ってくれ



……消せるわけが  
ないだろう

え……



そんな…!

やってることは  
あの方と変わらない  
ではないですか…!

…そうだな…

…だが  
俺は奴のように  
痛いことや  
怖いことはしない

それに  
遅かれ早かれ  
こうなったんだ

じっくり店に通って  
仲を深めるはずの  
予定は狂ったがな

…!  
!?

な、何故…

何故そんなに私に  
こだわるのですか

きや…っ!?



藤田小夜…

…いや  
とうとう  
藤堂小夜様…


君は  
亡き藤堂伯爵の  
一人娘だ




何故…

それを…

小夜さん



俺と結婚して  
もらおうぞ




女性である君には  
爵位しやくいは継げないが

婿養子を取れば  
再び叙爵じよかくできる

今や帝都に  
無くてはならない  
風戸汽船の俺ならば  
宮内大臣の認許も  
おりるだろう

ずっと  
疑問だった



これほどの成功を  
収めた人が何故  
一介の女給に  
肩入れするのか

この人は…爵位目当てで私に近づいていたんだわ

私は藤堂伯爵家に生まれた



母は身体が弱く  
私が幼い頃に亡くなり

その後父は後妻を  
迎えることなく  
私は一人娘として育った



だけど2年前  
その父が馬車の転落事故で  
突然帰らぬ人となってしまい



娘しかいなかった  
藤堂家は  
爵位返上となった

父が亡くなる少し前  
私には婚約の話が  
上がっていた




私が結婚していれば  
相手の男性が  
襲爵できたのだが

その時の私は  
まだ結婚は嫌だと  
駄々をこねってしまったのだ




私のせいで藤堂家は没落した



君も藤堂家を復興  
させたいだろう？

安心しろ  
俺に任せていれば  
何もかも上手くいく



君はただ  
俺に可愛がられて  
いればいいい…





貴方は  
恩人ですが…

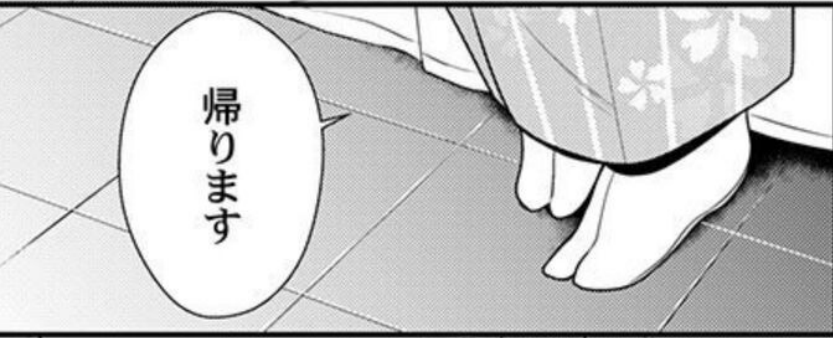
女を…まして藤堂を  
都合のいい道具に  
されるのは許せません



……



…女を道具としか  
見ていないのですね



帰ります



…どうぞ  
お構いなく



…今すぐ出ていく  
必要はないんじゃないか？

外は雨だぞ



残った財産には  
手をつけていません  
払って頂いたお金は  
きちんとお返し  
しますから



お金：実際には  
家を手放す際に

使用人たちに財産を  
分けてしまったから  
残ったのはわずかだ…

そのお金がなくなれば  
藤堂家復興はますます  
難しくなるかもしれない…

小夜様…っ  
お待ち下さい…!!

でも、私は…





志津…!?

あなたたちも…っ

…!



我々は藤堂家を  
出た後

風戸家で働かせて  
頂いております



どうして  
うちの使用人が  
風戸さんの屋敷に…

小夜様  
その後心配していました  
ご無事で良かった…っ



そう…  
でしたか…

と、とにかく  
あなたたちも  
濡れてしまうわ…

屋根の下



…え…？

藤堂家を立て直すのに  
これ程好条件なお相手は  
他にありません

私からも  
お願い  
します…！



小夜様  
どうか正臣様と  
ご結婚されて下さい！



と、突然どうしたの…  
まさか脅かされて  
いるの…？

風戸家に何か  
酷いことをされて  
いるのでは…

と、とんでもない！  
その逆です



正臣様は本当に  
素晴らしい方です

正臣様になら  
小夜様をお任せ  
できると…



そんな…







小夜様  
大丈夫です  
正臣様なら小夜様を  
必ず幸せにして  
下さいます

伯爵令嬢である君と  
結婚出来るほどの  
資金力があり

且つ若い男は  
今の帝都には  
俺しかない



我々は先代藤堂伯爵に  
大恩が御座います  
藤堂家をこのまま  
終わらせて欲しくは  
ないのです

…当然だ  
藤堂は私だけの  
家じゃない

私が生まれるより長く  
仕え住んでいた者も  
沢山いた

それが、  
私のせいだ…

…分かりました



私にとっても  
藤堂家の復興は  
成さねばなりません

貴方のご厚意に  
甘えましょう

小夜様……!

……ですが、

この身を許しても  
心まで自由に  
できるとは  
思わないで下さい

ふ……まあ  
いいだろう

君は  
藤堂家のことだけを  
考えていればいい

とにかく中に入るんだ  
そのままだと風邪をひく

誰か湯の準備を  
してくれ

かしこまり  
ました

…!

……

はあ…

まさか  
こんなことに  
なるなんて…

お風呂

でも  
あの子爵に売られるよりは  
良かったと思うべきだわ…

風戸さんが実際は  
どんな人か分からないけど

爵位目当てなのだから  
少なくとも結婚するまでは  
酷い扱いは受けないはず…

でもその後は…

つらく寂しい人生に  
なるのでしょね…

世間では自由恋愛が  
謳<sup>うた</sup>われているけれど…

そんなの本当に  
あるのかしら…

まあ  
華族<sup>かぞく</sup>の君には  
難しいだろうな

…っ  
ちょっ…っ!?



それに藤堂家を  
存続させるなら  
子は必要になる

君が俺を嫌ううちは  
無理強いはしないが…

いずれはココで  
俺の子種を  
受け止めてもらう

っ…最低です

…なんとも  
言うといい

君が目的のために  
俺と婚約したように  
俺にも成さねば  
ならないことがある

っ…



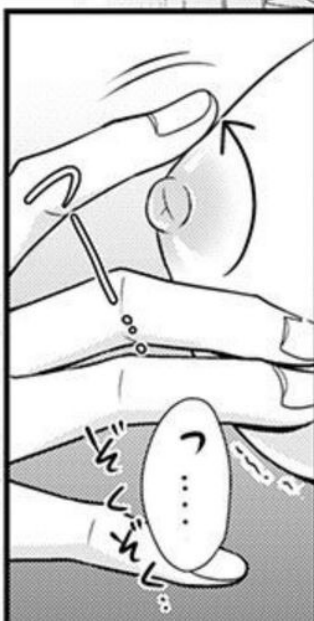
そんなの  
簡単に  
言っけど…



だから君も  
意地を張らず  
俺を愛せば  
楽になるぞ

だったら

あ、貴方も…



貴方もこの先…  
私を愛してくれると  
言うのですか…? ?

ん?

っ…



俺は今でも十分  
君を愛している  
つもりだがな





そんな回先だけの言葉で...

こんなじゃ...



でも...  
我慢、しないと...



おいえ  
御家のため...  
みんな我慢してる  
ことなんだから...

はっ、  
はっ、

どうした  
声を出さないのか？

昨夜はあんなに  
乱れていただろう

あ、それは…

香のせいかな？

ちゅぽ

ちゅぽ

…だが今も  
こんなに  
感じているぞ？

君には元々  
淫らな素質が  
ありそうだな…

だって…  
こっぴつこっぴつとはきつと  
痛くて怖いだけだって  
思ってたのに…

こんなに

こんなに優しく  
触られるなんて…

気持ちいいなんて…っ

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

あ

あ

ちゅぽ

あ

あ

あ

あ



：なんだ  
もうイッた  
のか？

ふ...  
可愛いな...

あ...

はは...



小夜さん...

嫌...っ



…誰かに  
操を立てて  
いるのか？

…っ



っ…

あ…  
ごめん  
なぞ…



…俺の部屋に  
行くぞ

君が誰のものに  
なったのか  
その身に刻んで  
もらおう

紳士、或イハ猛獣。  
～富豪に奪われた  
乙女の純潔(2)

著者 虎井シグマ  
発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。  
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、  
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。